

多摩区地域デザイン会議 結果概要

1 開催日時等

日時：令和4年5月22日（日）13:30～16:00
場所：多摩区総合庁舎 11階会議室（1101～1104会議室）
出席者：27名（地域活動団体、地域活動を支援する団体、大学の関係者 等）
傍聴：1人

2 テーマ

地域の横のつながりを広げ、もっと住みやすいまちへ
～様々な立場の人が一緒になり一層活躍できる環境づくり～

多摩区では、町内会・自治会をはじめとする地域団体や、区にゆかりのある大学、地域活動を支援する団体など、様々な立場の方が住みやすいまちづくりに向けた活動を行っている。

こうした地域で活動する皆さんのつながりを更に広げ、活動しやすい環境づくりを進めることで、区民の参加と協働による地域課題の解決が一層進んでいくことを目指し、情報共有や意見交換を行った。

3 内容

（1）参加者自己紹介・活動紹介

（2）テーマに関連する区の実践の紹介

・テーマに関連する区役所の取組紹介 ・生田出張所新庁舎の諸室の紹介

（3）グループでの意見交換

・3つのグループに分かれて意見交換等を実施

グループ① 会場：1101会議室 進行：区役所職員

参加者9名（地域活動団体、地域活動を支援する団体、大学の関係者、区役所職員2名）

グループ② 会場：1102会議室 進行：区役所職員

参加者9名（地域活動団体、地域活動を支援する団体、大学の関係者、区役所職員2名）

グループ③ 会場：1104会議室 進行：区役所職員

参加者9名（地域活動団体、地域活動を支援する団体、大学の関係者、区役所職員2名）

【各グループで出た主な意見】

①日頃の活動で困っていること、課題等

「担い手」や「横のつながり」に関すること

- ・若い人や知識がある人など、活動する上で人材が不足している。
- ・担い手が高齢化している。
- ・取組が単発となっていて、つながりがうまれない。
- ・イベント開催時などに多摩区ソーシャルデザインセンターや大学と連携したいが、どのように相談していいのかわからない。
- ・多摩区民活動・交流センターには200近い団体が利用登録をしているが、交流会などでは30～40団体しか参加しない。ほとんどの団体が単体で動いているため、つながりがあまりない。

「活動場所」に関すること

- ・活動拠点となるような場所がない。
- ・市民館の事業で講座を開催しているが、事業が終わると別の場所で活動しなくてはならない。

「知識（ノウハウ）や情報」に関すること

- ・地域の活動に参加するきっかけとして、どこに問い合わせればいいのかわからない。
- ・団体としていろいろなイベントに参加したいが、開催情報などをどこで調べられるのかわからない。
- ・所管している施設において、ノーマライゼーションの考え方にに基づき、誰もが利用できる場にしてイベント等を行ってみたいが、どのように企画してよいかわからない。

「活動資金」に関すること

- ・活動資金が不足している。

その他

- ・取組の認知度が低い。
- ・自分達で主催してイベントを行う際に、市の後援などがないと怪しまれてしまうことがある。
- ・地域通貨の取組が認知されていない。若い世代に普及を試みているが、インセンティブがなく展開の仕方がわからない。

②活動する上での課題の解決や今後の団体同士の連携等に関するアイデアや意見

「担い手」や「横のつながり」に関すること

- ・子ども達を巻き込んだ取り組みを通じて、大人の交流につなげられることがある。
- ・体操など高齢者もできる取り組みを団体同士で連携して一緒に行ってみたい。
- ・多摩区ソーシャルデザインセンターは、若い人も多く活動しているのでコラボしやすそう。ぜひ、一緒に活動してみたい。
- ・活動に協力してくれる大学生ボランティアを紹介してほしい。
- ・もっといろいろな活動をしている人とつながりたい。
- ・シニアの社会進出の活動をしているが、男性参加者が少ない。男性はこれまでのキャリアがリセットできない人が多い。
- ・コロナの状況にもよるが、飲みニケーションなどで他の団体等と交流を深めていきたい。
- ・多摩区ソーシャルデザインセンターでは、様々な資格を持った学生も多数いるので、人材のマッチングという点で何か協力していきたい。学生カフェなどの取組を実施しているので、ぜひ来てほしい。
- ・ボランティア活動への関わりを求めるのであれば、せめて交通費程度の報償は必要。
- ・活動をする上で、「これがやりたい」という思い（テーマ）を1つに絞らないことで、敷居が低くなるので活動に参加してくれる人が増え、人材不足の解決につながると思う。
- ・若い世代の参加を期待するのであれば、ボランティア活動が楽しいものだと感じてもらえることが大事。企画段階から関わりを持ってほしいのであれば、カジュアルで若者が参加しやすい場の提供と具体的なテーマ設定が肝となる。

「活動場所」に関すること

- ・活動場所について、有料ではあるが、地域の集会所などは活用できると思う。

「知識（ノウハウ）や情報」に関すること

- ・大学で実施している市民向けの講座について、どのようなテーマがあるとよいか、市民の声を聞いてみたい。

その他

- ・寺子屋事業の一環で、地域通貨の取組を取り上げるのも魅力があるかもしれない。
- ・多摩区ソーシャルデザインセンターで地域通貨が使えるようになるとよい。

③横のつながりづくりや、区取組等に関する意見等

- ・団体同士や団体と人がマッチングできるような場やコラボできるきっかけづくりを行政が企画してほしい。
- ・多くの自治会、町内会の人達や商店街や区内で活動している企業と意見交換できる場を設けてほしい。
- ・地域で仕事をしている・したい人達同士や団体などが交流できる場があるとよい。
- ・多摩区には、「緑」、「農」、「アート」、「学生」など地域の宝が沢山あるので、それぞれがつながり、総合的な取組ができるとよい。
- ・平日の夜に使える場所があるとよい。
- ・生田出張所が地域に開かれた場所になるとよい。各諸室が夜間などにも使用できるようになるとよい。
- ・活動している人が集まれる場所、行けばいつでも誰かがいて日常的に顔を合わせられる場所があるとよい。
- ・誰でも気軽に参加できるプラットフォームがあるとよい。
- ・区民祭において、地域で活動している団体のPRができる機会があるとよい。
- ・小学校などの学校教育などに地域通貨「たま」を取り入れてほしい
- ・地域で活動している団体等の情報を入手できるプラットフォームのようなものを行政で整えるか、多摩区ソーシャルデザインセンターが取り組むのを行政が支援するなりしてほしい。機能する窓口が一つあるとよい。

(4) 感想等の発表

- ・本日の会議では、皆さんが大変興味深い活動をされていることを知ることができて非常に良かった。今後もこのような会議でいろいろな情報交換等をさせていただきたい。
- ・参加者の皆さんが地域のために熱心に活動されていることが分かった。
- ・皆さんが地域を活性化させるためにいろいろな取組されていることが分かり、私自身、物事を新しい視点から考えることができた。皆さんからいただいた意見を今後の活動に活かしていきたい。
- ・いろいろな団体の皆さんとつながることができた。
- ・皆さんの話を聞いて、「まちを良くしよう」という思いが感じられた。このような場を設けてもらい、皆さんに出会えたことが自分にとっては財産である。
- ・今日参加してみて、いろいろな視点から地域貢献したいという皆さんの話を聞いて、非常に心強いと感じた。
- ・今月 27～29 日に（活動場所である）農園が一般開放されるので、興味のある方はぜひ来てほしい。
- ・活動をしていく上での悩みに対して、助言等をいただき非常に心強いと感じた。本日のような対面での交流に参加してみて、改めて横とのつながりの大切さを感じた。今後もこのような場があれば参加したい。
- ・グループでの意見交換では、地域通貨について、よく質問などをさせてもらい、（自身が活動

している)ウォーキングの話をおまわりできなかつたが、いい時間を過ごせた。

- ・地域で活動していく上で不安などもあつたが、頼ることのできる方々の存在を知ることができてよかつた。
- ・「まちを良くする」、「地域のために」という言葉をよく耳にしたが、それらの欲求は、「自分がこのまちで生きやすくするため」ということにつながるのかなと感じた。
- ・今日の意見交換を通して、困った時に助けてくれる人達の存在を知ることができた。
- ・本日の会議ではさまざまな分野で活躍されている人達が集まっているが、意見交換する際のメンバーの組み合わせやテーマ設定などが、もっと柔軟なものであればいいなと感じた。
- ・活動をしていく上で、「自分がやりたい事」、「自分が行ってみたい地域」など自分を起点に活動することが重要だなと感じた。個人的には「地域で仕事をつくりたい」という人たちが交流できる場があればいいなと思った。
- ・グループでの意見交換では、活動場所などの悩みについて助言やアイデアは出ていたが、それがマッチングできるかどうかも課題なのかなと感じた。
- ・次回はぜひ飲み物を用意してほしい。意見交換で一番感じたのは、参加者の皆さんが多摩区を愛しているということ。また、次回開催するときには、自治会・町内会の人や商店街の人、企業を巻き込んだ意見交換を設定してほしい。
- ・皆さんの活動への思いは、結果的には多摩区を良くしたいという共通の思いにつながっていくのかなと感じた。今日の会議を糧に今後も中間支援組織として頑張っていきたい。
- ・本日の会議を通して、皆さんが様々な視点に立った熱心な活動をされていることを知れて、中間支援組織として頑張らなくてはならないと改めて感じた一日であつた。

【区長】

短い時間での意見交換だったが、皆さんの熱心な意見等に感謝したい。

本日の意見交換等を聞いて、改めて各団体の活動やつながりが多摩区の一歩の地域資源だと感じた。

先月に開催した区制50周年記念式典のシンポジウムでは、「多世代で創るまちづくり」をテーマにしてパネルディスカッションを行ったが、その中で「多世代で取り組むことによって活動の幅が広がった」などの報告を受けた。簡単なことではないと思うが、つながることで新たな展開が見えてくると感じた。本日の会議をきっかけに、今後、皆さんが交流するきっかけになればと思う。

区制50周年を迎えた今年度を契機に、自分たちが住む地域の歴史や活動に関心をもってもらいたい。先ほども話があつたが、コロナ禍になってテレワークが進んだこと等により、地域に目を向ける人が増えたり、大学生も地域に関心をもっている人が増えていると思う。そういった意味では、地域の活動などにつながりが広がるチャンスが来ているのかもしれない。

皆さんの活動一つ一つが、より住みやすいまちづくりにつながっていくので、今後も区政推進に協力をお願いしたい。